



運動あそび通信

ほっぷ すてっぷ やっぷ～ No.2 (3・4・5歳児向け)

平成 29 年 6 月発行 養父市教育委員会 教育部 こども育成課 養父市広谷 250-1 電話 664-0315



運動遊びのねらい

- ◇ 友だちと関わりながら遊ぶ
- ◇ 楽しく体を動かすことが好きになる
- ◇ 「できなかったこと」が「できた！」に変わり、達成感・満足感を味わう



○ 巡回訪問運動遊びが、今年度もスタートしました ○

養父市では、子どもたちが生涯心身ともに健康でいられるように「幼児期における運動遊び事業」を推進しています。今年度も、各施設各クラス(歳児)ごとに運動遊び指導員が年間4回巡回し、子どもたちと一緒に遊びます。

「巡回運動遊び」第1回目はこんなことをしたよ!

【3歳児】いろんな動物に変身したよ



【4歳児】鉄棒前回り



子どもたちにとっては、鉄棒に跳び乗り、自分の意思で逆さ状態になることは、とても勇気のいることです。子どもと目と目を合わせ、向きあった状態で、指導者は下で見守ります。途中、「**鉄棒から決して手を離さない**」ように毎回約束しています。



【5歳児】後ろ向きクマさんで「ドンじゃんけん」ゲーム★お尻がぶつかったらじゃんけんぽん!



赤・青などの2チームに分かれて「ドンじゃんけん」ゲームをしました。ただし、後ろ向きクマさん歩きでの「ドンじゃんけん」。「早く進んで～!」の言葉に、後ろ向きに進まなければならないのに、「進む」=「前進」と思い込み、間違った方向に進み、相手チームに陣取りされるなど、脳のトレーニングにもなる楽しい遊びでした。

こどもの「ココロ」と「カラダ」②

～子どもの力は、身近な生活体験で伸びていく～



子どもは実際に体験し感じたことに心を動かされ成長していきます。大人と違って知らないことや経験したことのない気持ちを頭の中で理解することは難しいのです。

子どもはひとつの体験から様々なことを学び、感じ取ったり、いろんな体験の積み重ねからひとつのことに気付いたりします。

でも「何か体験させなくっちゃ!」と休みのたびにお出かけしたり・・・と頑張りすぎる必要はありません。近くの公園で遊びながら四季の変化に気付いたり、おうちの中でいろんな生活場面(洗濯や掃除、食事作りなど)を見ることやお手伝いをしたりすることも子どもにとっては貴重な体験なのです。

日々忙しい生活を送る中で、子どものペースに寄り添うことは大変です。しかし、子どもが体験している時間を大事にし、そのそばで「待つ」こと、「見守る」ことが大人の大切な役目なのです。

子どもは「体験させられる」のではなく、「体験する」ことによって、その記憶を心と体で覚えていくのです。どうか貴重なその一瞬一瞬を子どもと共有する喜びをたくさん味わってください。

(参考文献:教育雑誌)
指導主事 北村 友子



親子 de 遊ぼう

スキップできる?

お子さんが、「スキップ」が踏めるか、ご存知ですか?

タンバリン等の合図に合わせてスキップが踏めますか?リズム感、主に音楽用語などで使われていますが、意外にも、**話す言葉のタイミング、野球のバットを振るタイミングなどにも影響**しています。リズム感が無いからと言って将来困ることは無くても、体得しておく、社会に出てから知らないうちに役に立っている場面が多々あります。お子さんがリズムよくスキップを踏めているか、一緒に「スキップ」で、お散歩してみませんか?

(適齢4、5歳児)

6月は「食育月間」です

「食」「運動」「睡眠」サイクルは、子どもたちが豊かな人間性を育てていくために重要です。

生活リズムを整えて、心身の健康を家族で増進しましょう!



親子 de 運動遊び ※参加者募集中※

未就学児を対象にした親子での運動遊びイベントのお知らせです。(要申込)

【八鹿会場】◆全3回コース◆

とき:① 6月8日(木) ② 7月13日(金) ③ 8月10日(木) 全3回

じかん: 10:30~11:30

ところ: 子育て支援センターたいよう

【お申込み・お問い合わせ先】

子育て支援センターたいよう 663-1555 (火~金) 9:30~16:30 受付